

**適用車種: MAZDA CX-3****部品番号: DKD1 V1 27Z**

この度はダムド用品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
取付け作業を開始する前に、本説明書を必ず読んでください。  
常に最良の状態でご使用いただくために、本説明書をよくお読みいただき、内容を理解された上で正しい取付けを行ってください。

**<ご注意とお願い>**

- 本説明書に示されている ⚠ 警告マークと ⚠ 注意マークは、取付け、取扱いに関する安全上の事項ですので、必ず厳守してください。

**⚠ 警告** : 警告事項を守らないと生命の危険、または重大な傷害につながるおそれがあります。

**⚠ 注意** : 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車を損傷したりするなどのおそれがあります。

- 本説明書で締付けトルクを記載している部位は、トルクレンチを使用して規定トルクで締付け作業を行なってください。尚、締付けトルク値に ( ) が付いている場合は、参考値であり、トルクレンチでの締付けは必須ではありません。
- 本説明書に記載されていない取付け、使用方法は絶対に行わないでください。
- 本商品を改造しての取付けは、絶対に行わないでください。
- 作業の安全性と信頼性確保のため、取付け・取外しの作業は、必ずマツダ販売店にて実施してください。
- 本商品の取付け、取扱い内容につきまして、ご不明な点がございましたら、商品購入先の販売店にお問い合わせください。
- 記載事項を守らなかった為に発生した不具合につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取外した部品の紛失や傷つき、脂などの異物付着がないよう、十分注意してください。

**取付け販売店の方へ**

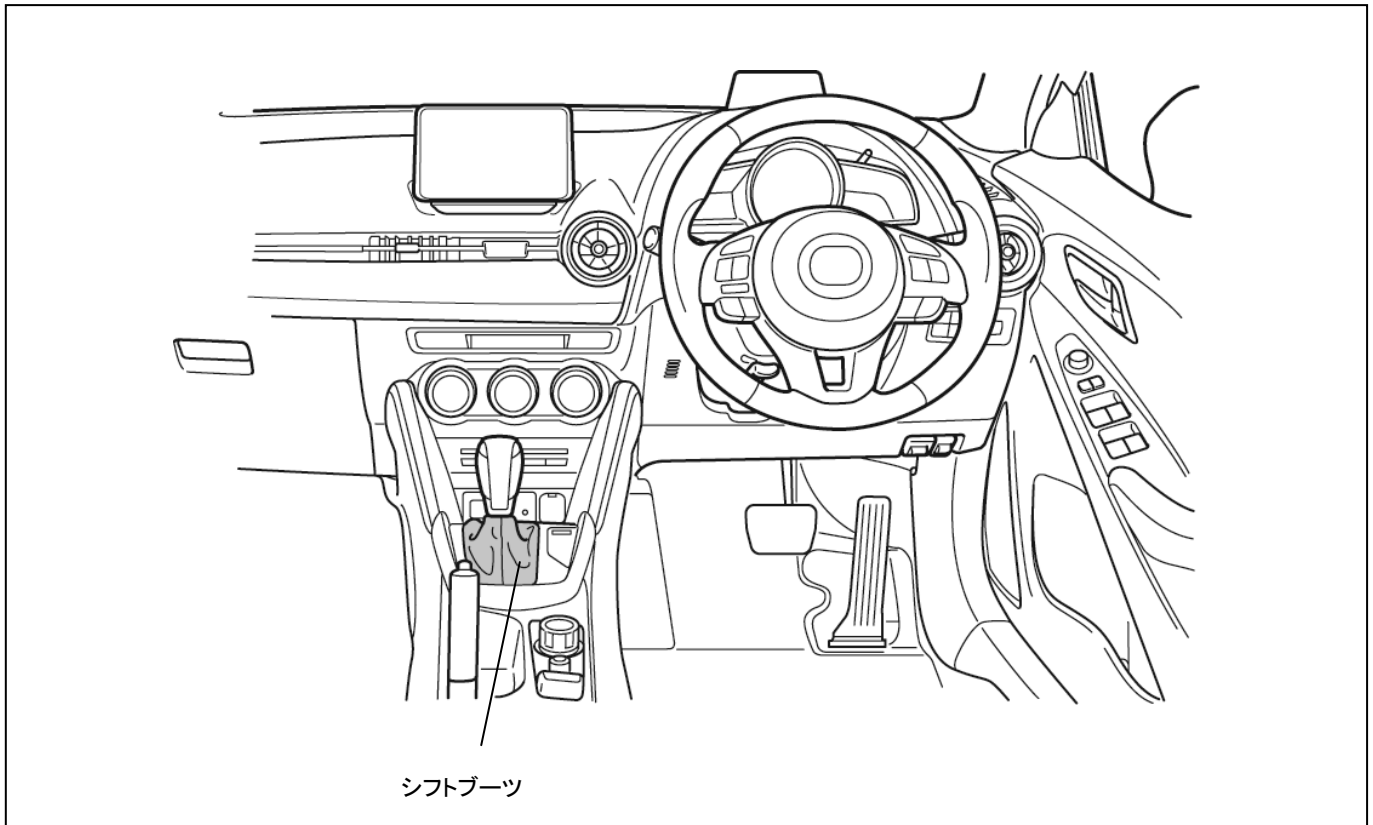
取付け完了後、本説明書は必ずお客様にお渡しください。

**お客様へ**

- 本説明書は、他の用品装着時に必要となる場合がありますので取付け完了後も大切に保管してください。
- 本商品を他のお客様にお譲りになる場合は、必ず本説明書もあわせてお渡しください。



**株式会社 ダムド**〒242-0001 神奈川県大和市下鶴間45-1  
TEL.046-271-5599

## 1. 完成図



## 2. 構成部品

- 部品が全てあるか、また汚れ、傷、損傷がないか確認してください。

部 品	名 称	数 量	部 品	名 称	数 量
	シフトブーツ	1		取付/取扱説明書	1

### 3. 取付け作業前の確認事項

#### 使用工具

☆ソケットレンチ (10mm)

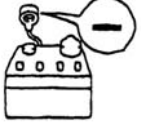

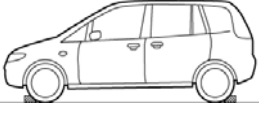


☆トルクレンチ

☆プラスドライバー



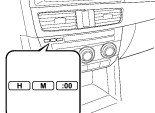

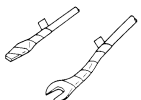
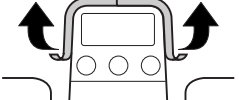
☆ファスナーリムーバー

☆マイナスドライバー(保護テープ)

#### ⚠ 警告

<p>バッテリーの(－)ターミナルを切離し、端子が触れないように十分注意してください。作業中のショート事故による部品損傷や感電、ケガの原因となります。</p>	<p>ハーネスは無理に引っ張らないでください。 断線やショートによる事故や、感電、火災の原因となります。</p>	<p>車両は平坦な場所に停め、パーキングブレーキをしっかりと引き、輪止めをセットして作業を行ってください。作業中に動き出しケガの原因となります。</p>	<p>コネクタの切り離し/接続はコネクタ本体を持って確実に行ってください。 断線や接触不良による事故、火災の原因となります。</p>
			
<p>コネクタの接続は「カチッ」と音がするまで確実に押し込み、コネクタをもう一度押し、半嵌合していないか確認してください。 接触不良による事故、火災の原因となります。</p>			
			

#### ⚠ 注意

<p>車両部品の取外し/取付けを行う際には、傷付き防止のためマスキングテープ、プロテクターで保護してください。</p>	<p>寸法及び使用目的に合った工具を使用してください。 部品を破損する原因となります。</p>	<p>バッテリーの(－)ターミナルを取外すと、パワーウィンド、時計、i-stop、ステアリング舵角センサの基準点等の初期設定値やメモリーが消去されますので復旧作業を行ってください。</p>	<p>取外した部品/キット部品は傷を付けない様に保護シートの上に置いてください。</p>
			
<p>ドライバーやファスナーリムーバーには車両の傷付き防止のため、保護テープを巻いてください。</p>		<p>内装パネルやトリム類の脱着の際に使用する傷付き防止用のマスキングテープなどは速やかに除去してください。貼り付けたまま長期間放置すると変色、変質などの原因となります。</p>	
			

#### アドバイス

<p>車両部品の取外し、取付けに関しては、該当車両の整備書を参考にしてください。</p>


## 4. 車両部品の取外し

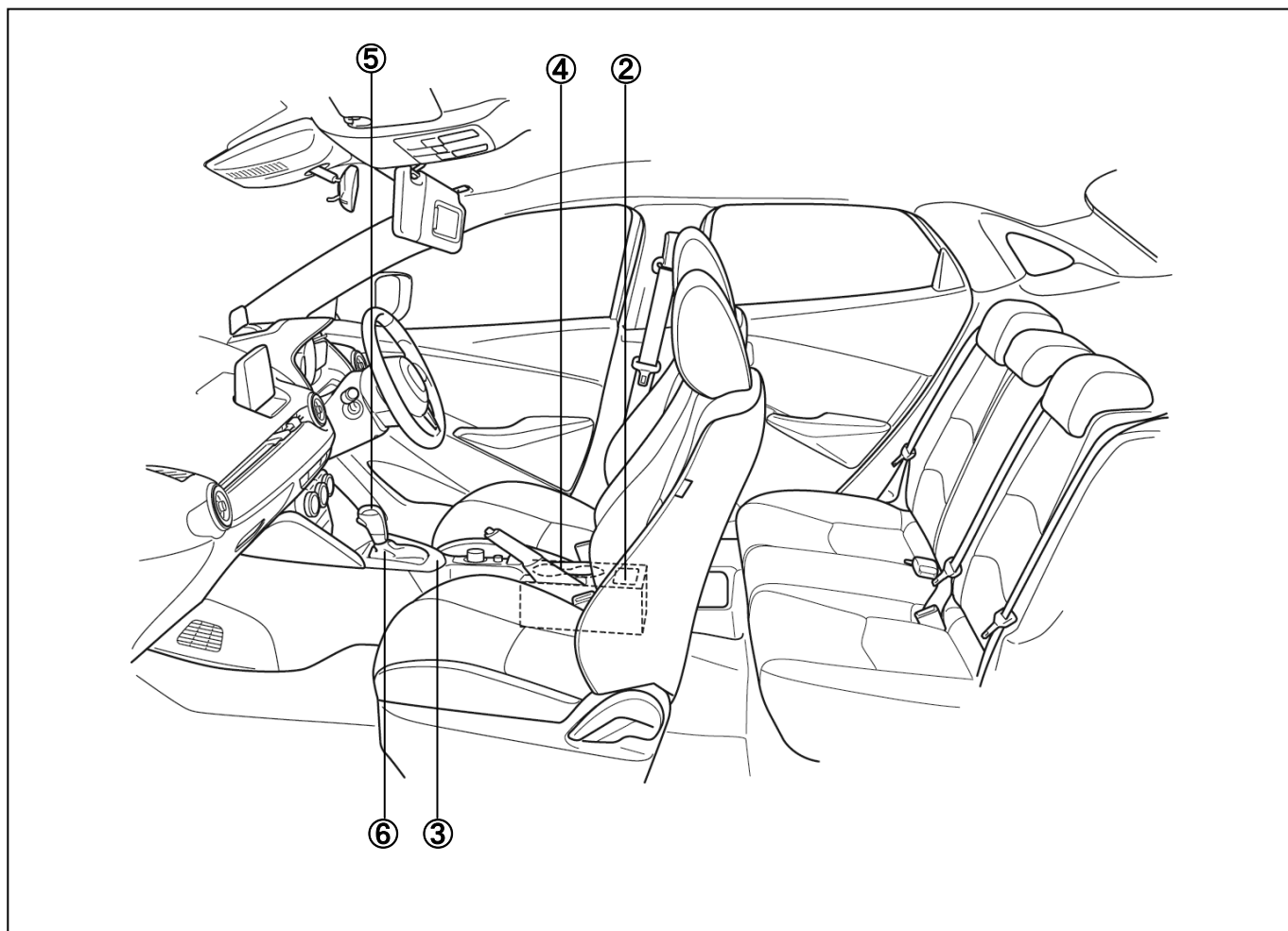
以下の順序で、車両部品を取外してください。

### ⚠ 注意

- 取外した車両部品は再使用します。傷を付けたり、紛失しないように十分注意してください。

### 参考

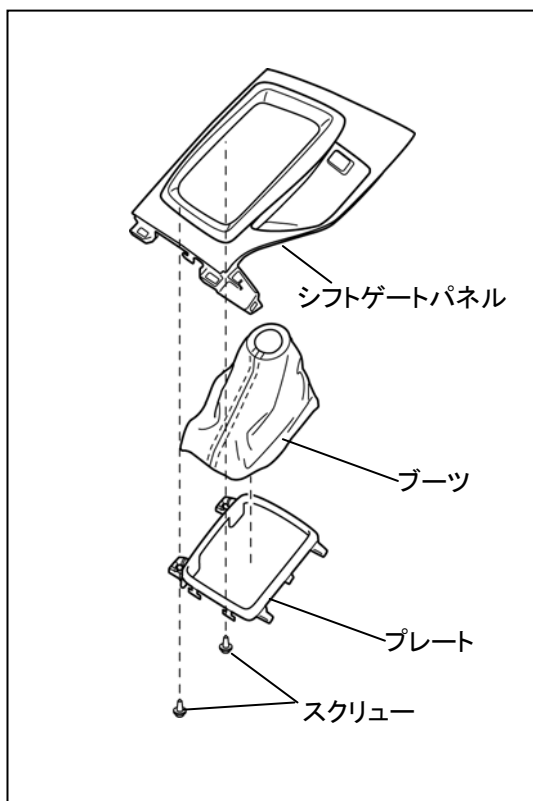
- 車両部品の取外し／取付けに関しては、該当車両の整備書を参考にしてください。整備書の手順に従わないと事故、または車両不具合につながる可能性があります。



- ① バッテリー(-)ターミナルの切り離し
- ② センターコンソール
- ③ シフトベゼル
- ④ アッパーパネル
- ⑤ セレクタレバーノブ(ATX)/シフトレバーノブ(MTX)
- ⑥ シフトパネル

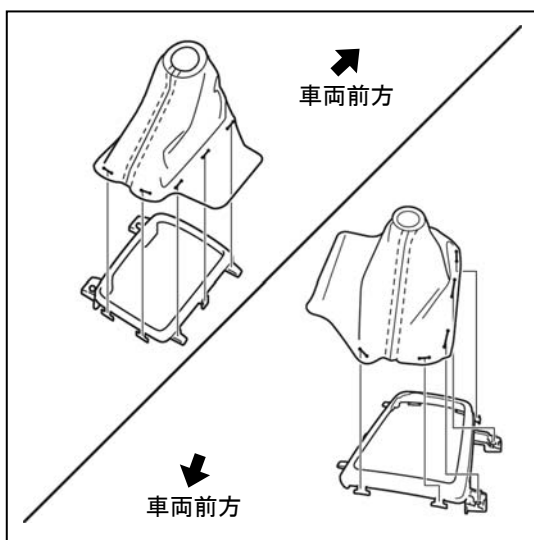
※ 車両部品取りしの詳細手順は車両整備書を参照してください。

## 5. シフトブーツの取外し



1. シフトゲートパネルからブーツを取外します。
2. ブーツをプレートから取外します。

## 6. シフトブーツの取付け



1. プレートにシフトブーツを取付けます。
2. 取外しと逆の手順でシフトブーツを取付けます。

### ■車両部品の取付け

1. 取外しと逆の手順で車両部品を取付けます。

## 6. 復元・点検

1. 車両整備書の「バッテリー（－）ケーブル端子切離し／接続後に必要となる作業」を参照し、車両機能を復元してください。
2. 車両部品の復元点検および用品の取付け、作動確認を行なってください。

## 7. お客様へ

### 本製品で使用している素材について

ultrasuede®

メンテナンスがとても簡単な便利なマテリアル。“ウルトラスエード”をいつまでも美しくご使用いただくために。

※ウルトラスエード®は、東レ(株)のスエード調人工皮革です。

### 日常のお手入れについて

#### ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

#### 全体の汚れが気になる場合

- 1 40℃程度のぬるま湯を染みこませ固く絞った布やワイピングクロスで全体を拭いてください。
- 2 乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。

(ご注意)

ぬるま湯は固く絞り、毛羽が強く乱れないように拭き取ることが大切です。また、布やワイピングクロスの汚れは充分取り除いてからご使用下さい。

### 液体や油性の汚れがついた場合

#### 部分的な汚れの水拭きについて

液体汚れをこぼした場合は、慌てずにこぼれた液体をティッシュペーパーなどを軽く当て吸い取ってください。大部分の汚れはこれで取り去ることが出来ます。また、表面に乾燥して固着してしまった泥汚れやコーヒーなどの乾いた汚れは、汚れ部分を軽くブラッシングし取り除きます。ブラッシングの後、電気掃除機で乾燥汚れを吸い取ることも効果的です。

- 1 これらの方法で取れない場合は、40℃程度のぬるま湯を染みこませ固く絞った布やワイピングクロスで汚れ部分を外から内に各方向から拭いてください。
- 2 拭き取る布は常に新しいきれいな部分を汚れに当て、強くこすらないことが大切です。
- 3 表面のナップ（毛羽）が乱れたり、乱れが気になる場合は、軽くブラッシングしてください。
- 4 水拭き終了後は、完全に乾燥させてからご使用ください。

(ご注意)

液体を吸い取る際、ティッシュペーパーなどで強く押さえ過ぎると汚れがシートに染み込みかえって取れにくくなる恐れがありますので、軽く当てて吸い取るようにしてください。また、ぬるま湯は固く絞り、毛羽が強く乱れないように拭き取ることが大切です。ご使用になる布やワイピングクロスは充分汚れを取り除いて使用下さい。

#### 水拭きで取れない油汚れ

- 1 油性の汚れがついた場合は、乾いた布やティッシュペーパーで汚れが広がらないように出来るだけ拭き取ってください。
- 2 布で汚れ部分を外から内に叩いた後、乾いた布で浮いた汚れとベンジンを叩きながら吸い取ってください。
- 3 これを汚れの取れ具合に合わせて、数回繰り返してください。
- 4 汚れを拭き取った後は、ベンジンを完全に乾燥させてからご使用ください。

(ご注意)

車内の換気と火気に気をつけてください。窓を開けて作業することをお勧めします。また、ベンジンを染み込ませる布にはベンジンを浸けすぎないようにし、浸けすぎた場合は軽く絞ってください（ポタポタこぼれ落ちるのは浸けすぎです）。

### お手入れに関する注意事項

日頃のお手入れに家庭用洗剤を使った後、拭き取りが充分でないと残留した洗剤がウルトラスエード®を構成するポリウレタンの強度を低下させ、ウルトラスエード®の表面品位を損なうなどの問題が生じる恐れがあります。洗剤のご使用は極力お避け下さい。尚、高濃度の洗剤（原液）の使用は最も問題を生じ易く、もし洗剤を使用する場合は、水などで10倍以上に希釈した洗剤を使うことは勿論、最後にきれいな濡れタオル等で洗剤成分を充分に拭き取るなどの点にご注意下さい。